

NPO 法人大阪障害者センター・きょうされん大阪支部

合同研修事業

福祉と医療との連携のための基礎講座

～障害者の高齢化とその対応を考える！～

2017年度募集要項

主催；NPO法人大阪障害者センター

きょうされん大阪支部

障害者（児）を守る全大阪連絡協議会

協力；大阪健康福祉短大

事務局；〒558-0011 大阪市住吉区苅田5-1-22

電話 06-6697-9005 FAX 06-6697-9059

ご案内

今、障害福祉現場では、障害の重度化や利用者の高齢化などに伴い、医療的な様々な配慮が求められています。同時に看護師やPT・OTなどの専門職も加わり、福祉と医療の連携が大きな課題となってきています。しかし、現場ではこうした変化にも係らず、基本的な医療的な知識や障害の理解について、不十分な状況が指摘されています。加えて、現在障害者の「意思決定支援」も大きな課題となり、今後、相談支援専門員やサービス管理者の「ガイドライン」等が示されることとなります。

しかし実際に、本人の基本的ニーズを理解して、その支援課題を整理していくことは極めて大変な課題となっています。こうした現場の要望に応じて、障害理解と基本的医療知識向上のための講座を開催することとなりました。今年度も、現場の要望も入れ、「障害者の高齢化」への対応をベースにリニューアルした内容で講座を開催します。単発でのご参加も可能ですが、全体を通して受講いただき、支援力量のスキルアップを図っていただければ幸いです。

ぜひ、事業所ともご相談の上、積極的なご参加をお待ちしています。

※昨年度に続いての講座となります。基本的には、昨年度講座をベースにしていますので、昨年度受講できなかった皆さんが対象となります。

※なお、本年度から、「障害者の高齢期支援プログラム開発プロジェクト」が発足し、その第三次報告が行われていますが、こうした検討内容も一部含めた講義とさせていただきます！

対象者；現場主任。グループリーダー

期間；半年間 月1回程度の研修及び大阪健康福祉短大のご協力で講師陣の派遣をお願いしています。

受講料；加盟施設職員 無料（大阪障害者センター未加盟施設職員 5万円）

会場；**大阪障害者センター 大会議室**

定員；**15名**（今年度から会場が変更となったため会場規模の関係もあり厳格に定員を設けます。定員になり次第募集を締め切ります。また、継続して参加できない場合は、希望日を必ず明確にしてください。）

※当該研修の学びを、ぜひ積極的に職場に持ち帰り、職場で活かせるよう、送り出し職場でのご配慮をお願いいたします。

研修内容及びスケジュール

○ 専門職として「老い」をどうとらえるのか	石田京子(大阪健康福祉短大)	6月3日(土)PM1:00~	人の「老い」のとらえ方と障害者の高齢化の特徴と把握の視点
○ 障害者の高齢化への課題は何か	石田京子(大阪健康福祉短大)	7月15日(土)PM1:00~	
○ 高齢化に伴って配慮すべき支援① ~「嚥下」と身体の仕組みの理解と支援~	小田 史(大阪健康福祉短大)	8月5日(土)PM1:00~	「嚥下障害」の理解と、支援のポイント
○ 高齢化に伴って配慮すべき支援② ~「排泄」と身体の仕組みの理解と支援~	石田京子(大阪健康福祉短大)	10月7日(土)PM1:00~	「排泄障害」の理解と、支援のポイント
○ 高齢化に伴って配慮すべき支援③ ~二次障害の理解と支援~	鴻上圭太(大阪健康福祉短大)	11月11日(土)PM1:00~	脳性まひ等の障害を持つ人たちの「二次障害」に理解と支援のポイント
○ 高齢期の生活支援をICFを使ってアセスメントすることの意義	鴻上圭太(大阪健康福祉短大)	12月2日(土)PM1:00~	障害者への高齢期の日常支援における対応をICFの考え方を導入して検討する

会場案内図

公共交通機関をご利用の方；地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、徒歩約10分。

大阪市営バス「苺田小学校前」下車、徒歩約2分。



2017年度医療基礎講座申込書

推薦者氏名		施設名	
連絡先			
電話		FAX	
受講者氏名		施設種別	
現在の職歴		職歴	
受講動機			

※通しで参加できない場合は、必ず、受講希望日を明記してください。

(例：7/15受講希望等)